

企業との協働の森づくり事業 「YKK AP 企業の森」の協定締結

7月31日(金)、鏡野町と大手住宅建材メーカーYKK AP株式会社(本社・東京都千代田区)は、岡山県が推進する「企業との協働の森づくり事業」に関する協定を締結しました。

「YKK AP 企業の森」の協定期間は、令和2年8月1日から令和7年7月31日までの5年間で、今年度から鏡野町奥津地内の町有地1haに少花粉スギ、ヒノキ計3,000本を植栽して、下刈等の森林整備事業を協働で行います。

8月17日(月)には、YKK AP株式会社(本社・東京都)の中国支社長が鏡野町役場に来庁し、山崎町長と今年度からの事業計画等についての意見交換を行いました。

YKK AP株式会社は、本事業により国内の森林の持続的な発展に寄与し、建築業界の持続可能な事業発展に貢献することを目的とされています。



瀬戸伸介中国支社長と山崎町長

わくわく科学教室

9月5日(土)、鏡野町中央公民館で、中央公民館主催講座「わくわく科学教室」が開催されました。今回は「鏡と分身の術」をテーマとして、合わせ鏡によって出来る不思議な世界を楽しみました。参加した児童からは、「鏡を作るのは難しかったけど、きれいな絵が見れた」と感想があがっていました。



交通安全啓発用マスクットの寄贈

9月16日(水)、鏡野町役場応接室において鏡野町老人クラブ連合会女性部部長の水田早苗さんから、交通安全啓発用マスクット226個が山崎町長へ手渡されました。

水田さんは「これをお守りだと思って交通安全に気を使っていただけだと思います。」と話されていました。

マスクットを受け取った町長は「ドライバー一人一人に、このマスクットとともに安全運転を心がけてもらいたい気持ちが届けばと思います。」とお礼を述べました。

このマスクットは、各公民館等公共施設や商業施設等で配布されました。



上齋原茶道教室

9月8日(火)、上齋原文化センター内の茶室にて、上齋原公民館主催講座の茶道教室が開催されました。教室では参加者たちが、亭主(お茶を点てる方)・半東(亭主のサポート)・正客・見学に分かれて、それぞれの役割を果たしていました。

参加者たちは、正客に半東がお菓子をお勧め、召し上がっている間に亭主がお茶を点てるという流れを、ところどころ先生のサポートを受けながら体験し、雅やかなひと時を過ごしていました。

講師である吉田美穂子先生は「茶道が初めての方でも大歓迎です。ぜひ一度お越しください」と話されていました。

